

4 コミュニティネットワーク・宝（南区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	コミュニティネットワーク・宝
2 事業名	くわしく知ろう 特殊詐欺 もうだまされないぞ
3 事業実施 結果	コミュニティネットワーク・宝（以下 コミネット・宝）は名古屋市南区の宝小学校区で活動している、ボランティア団体です。事務局3名を中心に学区在住の方々に、交通安全・生活安全・健康などその時々にあった内容で情報発信や、意見交換をしています。情報を共有して地域を知り互いを見守る事を最重点にしています。 昨年度は子ども・女性の安全対策事業を実施しました。今年度は2017年度に実施した特殊詐欺対策事業の継続事業の活動を行いました。5年の間にも繰り返される詐欺被害について広報誌や講演会で啓発活動を実施してきました。 コロナ禍で人と接する機会が減り、情報量も少なくなり、特殊詐欺の手口も巧妙になり多額の金銭の被害が出ています。 行動制限も少し緩和され啓発活動も感染症対策をすればできると考え、講演会、街頭での啓発活動も増やす方向で活動を行った。 活動内容 1. 「交流会食」での講演会、啓発品の配布。 2. 高齢者サロンでの講演会、学区住民対象の講演会。 3. 各家庭の電話機周辺に被害防止のためのステッカー配布。 (スイングポップ) 4. 金融機関店舗前での啓発活動。 5. 金融機関・コンビニ等のATMへのステッカー掲示。 以上の活動を実施するためには南警察署生活安全課と学区の協力を得ることが重要であるため計画書等を提示してお願いした。

実施と結果

1. 「交流配食」での講演会、啓発品の配布。(11月27日)

一人暮らし高齢者給食会として開催していたが、集まって食事ができないためお弁当を取りに来てもらう形式での配食を実施した。

1回に10人程度を集めミニ講演会をおこなった。

特殊詐欺の実態と対処方法を伝えた。

みなさん真剣に話に聞き入っていただき、質問にも答えてもらえた。



啓発品



交流配食(11月27日)

2. 高齢者サロンでのミニ講演会・学区住民対象の講演会。

(1) 宝学区主催の高齢者健康サロンでの講演会(10月27日)

以前から繰り返し特殊詐欺について話してきた。おさらいの意味での講演会となった。何度も繰り返し話してきたことに対し改めて皆さんがよく理解されていることを知った。知り合いにも電話がかかってきた等の情報も得ることができた。

(2) 学区内の診療所内グループ主催サロンでの講演会。(11月12日)

高齢者健康サロンでの話と内容の特殊詐欺についての話をさせてもらった。初めての団体であったので、詳しく丁寧に講演をさせてもらった。

サロン等での主な内容として、電話が掛かってきても自分の名前を名乗らない。

区役所等からは絶対お金を返すなどという電話は掛かってこない。銀行の店舗数が少なくなったので、ATMはできるだけ多くの人が利用するところ、銀行の店舗での利用をと呼び掛けた。



サロンでの講演会



3. 各家庭の電話機周辺に被害防止のためのステッカー配布。

(スイングポップ)

学区協議会等地域で活動している諸団体の集まりで時間をいただきお話をさせていただき、スイングポップ・クリーナークロスを配布した。

4. 金融機関店舗前での啓発活動。(12月15日)

年内最後の年金支給日。学区内の郵便局前での特殊詐欺防止の啓発活動。当日は南警察署生活安全課・南区役所地域力推進室の協力を得て、ATM利用者に対し注意喚起をおこなった。忙しい中、新聞やニュースで高額の被害実態を見聞きされているので、真剣に話に耳を傾けてもらいました。



金融機関前での啓発活動

5. 金融機関・コンビニ等のATMへのステッカー掲示。

(スイングポップ)

南警察署生活安全課を通じ銀行店舗・銀行が管理しているATM、コンビニATM・病院等施設内のATMへのスイングポップの配布をお願いしました。ATM操作中、目の前でスイングすることで注意喚起をすることができることを期待するものである。5年前に作成してATMに設置してもらった時「操作中目の前で揺れていて気になり内容を読んでしまった」との意見をもらったので今回も気にしてもらおうという効果を再度期待した。



ATMに設置



病院等のATMにも設置を依頼

	【事業実施結果】 講演会を数回開催したが、皆さんには真剣に聞いてもらい、実際に家に詐欺の電話がかかってきた人もいた。どのように対応したかと尋ねると自身の名前は名乗らなかった、知らない電話番号だから出なかった。話を聞いていたがおかしいと思ったから切った、警察に相談したなどとの内容であった。今回の事業以外でも以前からコミネット・宝の活動の一環で話しをする機会があった結果であると思われる。 今後も機会があるたびに特殊詐欺についての話を続けていきたい。今回の事業はある程度の成果・手ごたえを感じた。 関係各所にも賛同をしてもらい、ATMにもポップを掲示してもらえたここは大変良かった。
4 成果と課題 及び今後の取 組み	(1) 事業実施の成果及び課題 事業実施の結果と重なるが、機会があるたびに、特殊詐欺について話をしてきたことが、聞き手の頭の中に入り、被害にあうこともなかった。「友達に話したよ」と間接的に話を聞いた人の耳にも講演会での内容が届いていたことが分かり、うれしく思えた。 (2) 今後の取組み 引き続き、地道に繰り返し話をして皆さんに訴えていきたい。学区内だけではなく南区全体に響けばと思う。 次年度も応募できる機会があれば継続して活動したいと思う。